



当地区の街並み・歴史文化資源の保全 について意見交換しました。

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、2月以降しばらく会の開催を中止しておりましたが、「3密」にならないよう十分な感染防止策を施しながら、令和2年7月7日に第20回防災まちづくりの会を開催いたしました。

今回は、当地区を特徴づける「街並みや歴史・文化資源の保存」について、防災まちづくりとの両立という視点を踏まえながら意見交換を行いました。

「たき火」の歌のモデルにもなった竹垣の保全や敷地内緑化の推進、落ち着いた外壁や看板の色彩制限、公共設備を活用した歴史文化資源の情報発信（イラスト、案内地図）などについて他地区の事例を基に検討しました。

また他にも、古くからある通りの愛称（鎌倉街道、大根道路）の復活や、歩きやすく子どもたちにも親しめる街並みの整備などについての意見も出ました。

これらの資源をどのように活用し、保全していくのが当地区にとってふさわしいのかについて今後取りまとめていきたいと考えています。



第20回防災まちづくりの会の様子

次に意見交換を進めていく議題として、当地区内の道路の現状と整備の必要性についてや、避難経路の整備手法と沿道への影響について、ひきつづき慎重に検討してまいります。

今後とも、当防災まちづくりの会の活動に対するご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

当地区の防災について野方消防署・中野消防署へヒアリングを行いました。

当地区の消防・防災活動についての意見を伺いに、令和2年7月28日に、当会会員2名と中野区職員とともに、野方消防署と中野消防署の担当者へヒアリングを行いました。

消防としては普通ポンプ車が入れる道、小型ポンプ車でないと入れない道、防火水槽の場所等について一通り把握しているが、狭あいな道が多く消防活動がしにくい地域があることを認識しているそうです。

しかし、このような状況下においても「現在の状況を踏まえて、いかにして活動するかの対策をしている」という、非常に心強いお言葉を頂きました。

ただ、上高田には防火水槽が不足しているエリアもあるということで、今後、整備していきたいとのことでした。

なお、当地区で災害が発生した場合、野方消防署、中野消防署をはじめとして近隣の消防署から必要な隊が出動することになるとのことでした。



消防署へのヒアリングの様子



消防車・設備説明の様子

新型コロナウイルスの感染防止策について

防災まちづくりの会を開催するにあたり、「3密」とならぬよう、以下の点に配慮しながらしばらくこの対策を続けていく予定です。

- 全員のマスクの着用
- 入口にて手、指の消毒
- 座席間隔を広げ、ソーシャルディスタンスの確保
- 窓、扉を開放して十分な換気
- 長時間の会議とならないよう効率的な進行
- 予備の使い捨てマスク、フェイスシールドの準備
- 会の開催前と終了時の机、椅子等の消毒



■事務局 〒164-8501 東京都中野区中野4-8-1

中野区まちづくり推進部まちづくり事業課 新井薬師前駅周辺まちづくり係
(9階18番窓口)

TEL:03-3228-8827 担当:田方、牧